

ニセコ山系目国内901m峰山行

日程 2022年3月12日(土)
天候 曇りのち時々晴れ
参加者 C L 藤木 A班 L 西田：藪中 笹山 太田
 B班 L 酒井：水江 宇田 八重樫

登山口に予定時刻より30分早く到着。

除雪された場所には既に車1台、無造作に止められてあり、二人のパーティーが身支度を整え出発するところでした。

こちらは車3台、その車を少し移動してもらえれば、2台は止められるのではないかと打診してみるが、冷たく断られる。(タイミング悪かったかな?)

仕方がないので、小さなスコップで除雪開始。

なんとかそれぞれ、駐車場を確保出来ました。

目国内901峰は今回で3度目です。

3度目の今年は雪も多く、もしかしたら頂きより先の景色が見られるのでは、と期待して挑みましたがどうでしょうか? どうやら雪質が今市、表面が固くモナカ状のようです。皆ガッカリです。

雲の動きも速く、お日様は顔を出してくれるのでしょうか?

8時25分 一直線に続く林道をスタート。

今回は林道を少しだけショートカットして平坦な登りをひたすら進みます。

A班からB班へトップ交代で登って行き、斜面も少しずつきつくなってきた、誰が名付けたか『もんまのさか』も超え標高850m辺りまで来ると、やっと目国内岳が姿を現しました。

目国内岳を横目に見ながら行くと、人影が二つ小さく見えています。登山口で会ったお二人でしょうか? 強風の中登っています。



11時25分 901m峰頂上着 やはり3時間かかりました。風が強いです。

リーダー会議により、本日はここが最終地点となりました。

シールを外し滑降準備です。

11時45分 “ドロップイン!!”

滑り始めると直ぐに “滑らない!” “止まる!” の悲鳴が上がっています。

いつもと違う逆転の現象がおきています。

上級者が転んで難儀しています。

意外にも初級者が転ばずに滑っています。

スキー研究者のO女史は 『今日はスキーの滑りに任せましょう。』と
さすがで御座います。

途中、風の当たらない所で昼食タイム。

コロナ禍でこのスタイルが定着してしまいました。

その後の滑りはいつもの滑走に戻り、

融けて少しシャリシャリになった斜面を快調にとぼし、林道を経てあっという間に
登山口に着きました。

今日の雪は最悪だったそうです。

モナカの上に新雪が2~3cm積もると、急ブレーキがかかったり、急に滑る所があったりで
難しい雪面になるそうです。

すっかり気持ちが折れたそうです。

初級者の私達、結構楽しかったネエ〜

リーダー有難うございました。今日も楽しい山行でした。



901峰頂で蘭越の町をバックに